

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 令和2年7月29日（水）8月号



“啐啄同時(そったくどうじ)”

こうちょう つつみ しゅうさく
校長 堤 周作

ほんこう うんどうじょう まわ き いちばんおお さくら さくら おお かい ち い き みな
本校の運動場の周りの木で一番多いのが桜。この桜の多くは「おやじの会」という地域の皆さん（多くは大伴小出身の大先輩、女性の方もおられます）が、子どもたちのために植えて下さいました。それらは、卒業式頃に咲く桜、入学式頃に咲く桜など、咲く時期が違う貴重な桜を植えて下さっています。それぞれの子どもたちの晴れの日に、お祝いとなるように、桜の前で記念写真を撮ることができるように、という願いがあるとお聞きました。

しかし貴重な桜は、枯れないように丁寧な手入れが必要です。7月の日曜日に2回、「おやじの会」の皆さん10人が、木に毛虫が寄り付かないよう消毒したり、カミキリムシの卵や幼虫がいる桜の木を見つけて穴にスポイトで薬を注入していただきました。また、木の手入れに先立って早朝から、毎年5年生が行う田植えと稲刈り体験でお世話になる田んぼに入り、稲の周りに生えた雑草を抜いたり、稲を食べてしまう巨大タニシ（ピンク）の卵を地道に取っていただきました。

大先輩といえば、毎日お世話になっている「見守り隊」の方々。暑い日も寒い日も雨の日も、子どもたちが車や自転車からの事故にあわないように立っていただいています。7月の分散全校朝会で、「大伴は特別な学校。あなたたちは地域の大先輩に支えられている。そんな皆様に感謝できる人であってほしい。ふるさと大伴を大切に人であってほしい。」と子どもたちに話しました。

さて、今月号は“啐啄同時（そったくどうじ）”について述べさせていただきます。これは「禅」の言葉で、私が現役の中学教員だった頃、生徒を指導する際に大切にしていた言葉の一つです。保護者に相談された時にもよく使い、今でも同僚の先生たちに期待する際に心がけています。

「そつ」は雛が内側からたまごの殻をつつくこと、「たく」は親鳥が外側から殻をつつくことを言います。雛は自分のくちばしでたまごの殻をつつき、生まれてきます。少しずつ少しずつ時間をかけて自分で自分の殻を割っていく…。親鳥は子どものペースに合わせて、それを応援する意味で、外から殻をつついてやる。雛がまだつつこうとしていないのに、もしも親鳥が、雛が十分に成長する前に外から殻を破ってしまったら…。準備が整う前に外界に出てしまった雛は、はたして無事に

せいちょう じ き しょうそう かこく うんめい ま
成長することができるのか。時期尚早とばかりに、過酷な運命が待っているかもしれません。だからといって、親鳥がいつまでたっても殻をつつくことをしなければ、自分の力で殻を破ることのできないような雛はなかなか外に出られません。下手をしたら、そのまま殻の中で力尽きてしまうかもしれない。早くもなく、遅くもない。「その時」を逃さず、正しく導く機知に富んだはたらき。それはつまり、親鳥（親や教員）が雛（子ども）を導くのに、どこでどのようにきっかけを与えるか、そのタイミングを決して間違わない、絶妙の機を逃さないという意味にもなります。

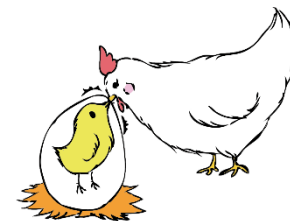
きょういくかつどう じどう せんせい かんけい おなじ い じどう し まな
教育活動における児童と先生の関係も同じことが言えます。児童が知りたい、学ぼうとしているサインを先生が見逃してはいけません。しかし、児童がサインを出していないのに、先生がやたらと殻をつつくと勉強が嫌になってしまう。だからといって、ただその機会をじっと待つと、機を逸してしまう。教員は子どもに内側からつつかせるような準備や刺激を与えることも必要です。

わたし がっきゅう がくねん ぶかつどうなど せいと じょうげん あと がくりよくめん せいしんめん ぎじゅつめん きゅう
私も、学級や学年、部活動等で生徒に助言した後に、学力面や精神面、技術面で急に「ぐっ」と成長する場面を目の当たりにすると、「啐啄同時」を実感します。殻を破る者と、それを導く者、そんな両者の「啐」と「啄」が、ずれることなくピタリと同時に行われるのが理想です。

おやこ どうよう い わたしじん こそだ さいおどこ さいおんな けいけん
親子にも同様なことが言えます。私自身の子育て（22歳男、20歳女）でもしみじみと経験しました。学校でたくさんの生徒を育てている自分も、自分の子育てとなると理想通りにはいきません。むしろ失敗ばかりです。なかなか子どもに自分の思いを理解させることができない時には、「啐啄同時」を思い出し、焦らないようにしています。子どもは一人ひとり違い、その子のペースに合わせて関わる必要があります。子どもは本来、自分で伸びていく力を持っており、関わり方でその力を伸ばすこともできるし、つぶしてしまうこともあります。親は子どものサインを逃さないように、しかし焦らずに、大らかに子どもを見守ることを心に留めておきたいものです。

よ しどうしゃ おや きょういんなど ほし かず しどうしゃ ほんとう ひつよう ししつ
世に指導者（親や教員等）は星の数ほどいます。そんな指導者にとって、本当に必要な資質とは何でしょうか？ 技術を教えることができる。知識を教えることができる。もちろんそれらは必要なことです。でももっと大切なのは、教え子（子ども）があと一歩で殻を破ることができることを見逃さず、どこを破ればいいのかをそっと示して、その成長を促してあげること。そんな人が、真に優れた指導者なのではないでしょうか。

それには、教え子をよく見る眼が大切で、音なき「啐」を感じとる知覚が欠かせません。それら師と弟子の両者が相対する研鑽の場では、厳しく、優しく、時に不器用な師の「啄」が、今日もいたるところで行われているのだと思います。



お知らせ

1. 夏休みについて（再掲載）



- ・夏休みは8月8日（土）～26日（水）です。
- ・8月22日（土）に登校日です。登校はいつも通りで、完全下校は10：00です。
- ・毎年実施している水泳指導教室、サマースクールは今年開催しません。

2. 5年生臨海学習について

- ・9月23日（水）、24日（木）府立海洋センター（岬町）に行きます。
- ・9月9日（水）16：00より説明会を実施します。

3. 6年生修学旅行について



- ・10月2日（金）、3日（土）伊勢方面に行きます。
- ・9月25日（金）16：00より説明会を実施します。

＊2.3共に新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で、実施を予定しています。

また、感染拡大の状況等により変更もあり得ます。

4. 運動会について

- ・10月31日（土）午前開催で実施できるか検討中です。
- ・具体的には、できるだけ密接を避ける競技（演技）で実施できるのか、保護者の参観について密集を避ける手立てを工夫できるのかなどを検討しています。

＊市内小中学校とも協議中です。感染拡大の状況等により変更もあり得ます。

5. 日曜参観について

- ・11月29日（日）で実施できるか検討します。
- ・実施の有無や、できるだけ密集を防止した上での参観方法などについて、2学期以降の感染拡大状況等を踏まえ決定します。



6. 学校閉庁日、代休日について

- ・8月12、13、14日は学校閉庁日、24日は22日登校日の代休日です。
- ・全教員が休みを取得し、学校に職員は不在となります。
- ・緊急時は富田林市教育委員会（tel:0721-25-1000）に連絡をお願いします。

7. 夏休みのラジオ体操について

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴い、実施を断念します。

重要